おちいちだより

新宿区立落合第一小学校
学校だより 10月号 平成29年 9月29日

志を果して

いつの日にか帰らん

副校長　森　信行

落一小の正面玄関を入ると、真正面に古い柱時計が設置されています。私が知っている限りでは、５，６年前までは動いていました。正確には、止まってしまうたびに、本校の主事が頻繁に修理の手を加え､何とか動かしていました。４年前頃から、手を加えても動かなくなったと記憶しています。

この時計の製作は昭和３年。御大典記念と記されています。昭和３年の御大典とは、昭和天皇の即位の礼があった年です。この年から本校の校名は、落合第一尋常高等小学校となり、同校の「児童後援会」からの寄贈になっています。その後、大戦等を経て時を刻み続けた時計も、創立９０周年の年に「昭和１７年卒同期会」の方々によって修復がされたようです。時計の左側面に、銅板が貼りつけられ、そのことが刻まれています。そして、本稿のタイトルにある「志を果して...」という唱歌「ふるさと」の一節も刻まれています。

昭和１７年は本校の５０周年の年です。この前年に第二次世界大戦が始まり、校名は落合第一国民学校に改称されています。２年後には群馬県への疎開が行われ、当時の子供たちにとって、希望を見出しながら生活をしていくことが難しい時代背景だったことは想像に難くありません。

７５年前に、そんな時代を生き抜いていらっしゃった先輩方が４０年後にこの時計に刻んだ言葉､「志を果して　いつの日にか帰らん」　往時の自分たちへなのか、自らの卒業から４０年後の後輩たちへなのか、誰に向けられた言葉なのかは、分かりません。

ただ、卒業生をはじめ、多くの方々が現在の本校、落合第一小学校を「ふるさと」と思ってくださっていることは、強く感じることができます。

１０月７日に開校１２５周年を祝う会を行います。この記念の行事を通して、現在在籍する４６４名が落合第一小学校を「ふるさと」と思えるきっかけの日となることを願っています。

１２５周年を祝う会

飯田　敏明

開校１２５年の記念の年として、今年度はさまざまな学校行事にお祝いの意味を込めて取り組んでいます。

７月に行われた開校記念集会では、代表委員会が落一小の歴史をテーマにした劇を発表したり、縦割り班活動でのお祭り集会では「１２５周年おめでとう」の文字を集めるスタンプラリーに取り組んだりと、記念の年を特別な気持ちで楽しむ集会となりました。

秋を迎え、１０月７日に行われる開校１２５周年を祝う会に向けての練習も本格的に始まりました。今回は全学年での呼びかけや､「自主創造」のモザイクアートの取組など全校でお祝いムードを盛り上げていきます。

こうした活動を通して、子供たちが落一小の歴史や地域の方の本校に寄せる思いを知り、自分たちもよりよい落一小を創造していこうという気持ちや態度を養っていくことをめざしています。

記念すべき１２５年目の思い出が、子供たちの記憶の中に永遠に残り、母校としての誇りをもち続けてくれることを願います。

校内研究授業報告

６年担任　門川　泰己

６年２組は、９月１３日（水）に「親切・思いやり」をテーマに研究授業を行いました。授業では、留学生で身近に頼れる人がいない「私」、それを助けた同じ苦学生である友人の気持ちを考えることで､「相手を思いやるとは、どういうことだろうか」という点について考え話し合いました。児童からは､「相手の心を読み取り、プライドを傷つけないように優しくすること。」「相手のためを思い、自己犠牲の気持ちをもったり、時には優しすぎたりしないようにと考えること。」といった声が聞かれ、教材を通して自分の考えを深めたり広げたりしていることを感じました。

思いやりの心と態度は、日頃から相手を思いやったり、相手に思いやられたりする体験の積み重ねにより形成されていくものだと考えています。児童たちが自分なりの考えをもち、たくさんの思いやりに触れることで､「誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること」という道徳性を養っていってほしいと思います。

美術館鑑賞教室

図画工作科　　木嶌　尚美

１０月２日（月）、新宿副都心の東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館で「東郷青児展」の鑑賞教室を行います。参加するのは５年生、１グループ４，５人に対し、１人のスタッフの方と一緒に作品を鑑賞することになります。

休館日のため美術館を貸し切って鑑賞します。友達と存分に意見交換ができる鑑賞教室になることを願っています。

そのためにも、今回も学校でスタッフの方々を交え鑑賞事前授業を行います。

美術館にあまり馴染みのない子供たちも、少しでも興味を抱くきっかけになるよう、展覧会の中で鑑賞できる作品を少し紹介しながら、自由に意見を出せる雰囲気づくりをしたいと考えています。今回の鑑賞をきっかけに美術鑑賞や表現に対する意欲や興味をさらに深められると嬉しく思います。

首都東京では、素晴らしい美術作品に出会えるチャンスも、子供たちはとても恵まれた環境に学びを得ていると思います。ぜひ、積極的に美術館に足を運んでみてください。

１０月の生活目標

落ち着いて　行動しよう

縄跳び旬間について

体育部

今年の１０月９日は体育の日ですが、当初は、体育の日と言えば１０月１０日でした。それは、１９６４年の東京オリンピックの開会式が行われた日であり、オリンピック開催を記念して国民がスポーツや体育に親しみ、健康な心身を培う目的で定められたそうです。その時のオリンピックでは、日本は１６種目で金メダル、５種目で銀メダル、８種目で銅メダルを獲得しました。

落合第一小学校でも、児童がスポーツに親しみ、健康な心身を培うことを目的として１０月１６日から１０月２７日までを縄跳び旬間としています。児童が使用する縄跳びカードには、銅メダルコース、銀メダルコース、金メダルコースとそれぞれに跳び方や回数の目標が定められており、達成していくことで次のコースへ進むことができます。短い期間ではありますが、高い目標をもち、積極的に取り組むことで、体を動かす楽しさを感じたり、継続的に運動することのよさに気付いたりしてほしいと思います。